

みずほCustomer Desk Report 2020/01/22号 (As of 2020/01/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.24
TKY 9:00AM	110.18	1.1096	122.26	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.23	1.1118	122.36	1.3002	0.6876
SYD-NY Low	109.76	1.1081	121.72	1.3083	0.6880
NY 5:00 PM	109.88	1.1082	121.75	1.2996	0.6843
				1.3049	0.6846
NY DOW	29,196.04	▲ 152.06	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	9,370.81	▲ 18.14	日本10年債	-0.010	▲1.00bp
S&P	3,320.79	▲ 8.83	米国2年債	1.5315	▲3.29bp
日経平均	23864.56	▲ 218.95	米国5年債	1.5742	▲4.78bp
TOPIX	1734.97	▲ 9.19	米国10年債	1.7734	▲5.07bp
シカゴ日経先物	24,040.00	▲ 10.00	独10年債	-0.2485	▲2.85bp
ロンドンFT	7,610.70	▲ 40.74	英10年債	0.6290	▲1.90bp
DAX	13,555.87	6.93	豪10年債	1.1615	▲1.10bp
ハンセン指数	27,985.33	▲ 810.58	USDJPY 1M Vol	4.60	0.30%
上海総合	3,052.14	▲ 43.65	USDJPY 3M Vol	4.96	0.16%
NY金	1,560.50	0.20	USDJPY 6M Vol	5.28	▲0.01%
WTI	58.76	0.18	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	181.56	▲ 1.32	EURJPY 3M Vol	5.55	0.09%
ドルインデックス	97.53	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	5.98	0.10%

東京	ドル円は110.18レベルでオープン。仲値にかけて買いが先行し一時110.23まで上昇するも、直後に日経平均株価の急落とともに110円割れまで下落した。その後は109.95近辺の狭いレンジで動意の薄い展開が続いた。日銀の「経済・物価情勢の展望」レポートにて、物価見通しが引き下げられるも、黒田日銀総裁は会見で「振れの範囲内」との認識を示し、目新しい材料無く影響は限定的であった。結局109.95レベルで海外に渡った。
ロンドン	ドル円は、109.95レベルでオープン。特筆する材料もなく110円を挟み109.89-110.08の狭いレンジでの推移だった。本日から始まるダボス会議でトランプ大統領がポジティブな講演をしたが大した材料と見なされず110.05レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3012レベルでオープン。1.30を挟んでのみみ合いで始まったが、11月までの英雇用統計が予想に反して好調な結果となると、直近の利下げ観測が巻き戻され1.3063まで買われた。結局1.3050レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	コロナウイルス感染拡大を懸念し世界的に株式市場が軟調に推移する動きに、海外市場で円買いが強まり109.89まで下落したドル円は、その後下げ渋り110.05レベルでNYオープン。朝方は、ダボス会議に出席中のトランプ大統領が、「欧州と貿易協定が締結されなければ、真剣に欧州自動車に関税を課すことを考えている」と発言したことから、ユーロ円が下落する動きや、海外市場の流れを引き継ぎ円買いが継続する展開に、ドル円は一時109.86まで下落する。その後一旦買い戻される局面もあったものの、午後に入り、米疾病予防管理センター(CDC)が米国でのコロナウイルスのケースについて発表とのヘッドラインを受け、軟調な株式市場が一段と下落する展開を受け、更に円買いが強まり、109.76まで下落した。終盤に掛けては、狭いレンジでの推移が続き、109.88レベルでクロスした。一方、独1月ZEW景況感が予想を上回ったことから、海外市場で1.1110まで戻したユーロドルは、1.1109レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ、1.1118まで戻す。しかし、前述のトランプ大統領の発言を受け、貿易戦争懸念からユーロ売りを持ち込まれ、1.1089まで下落する。その後一旦買い戻される局面もあったものの、ユーロ円が下値を模索する中、ユーロドルも上値を重くし、1.1081まで下落し、1.1082レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:高根・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

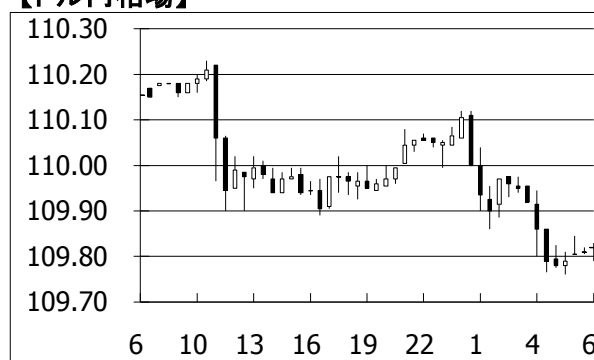
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月21日	12:01	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-0.10%	-0.10%
	18:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	3.4%	3.4%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	-9.5/26.7	-13.5/15

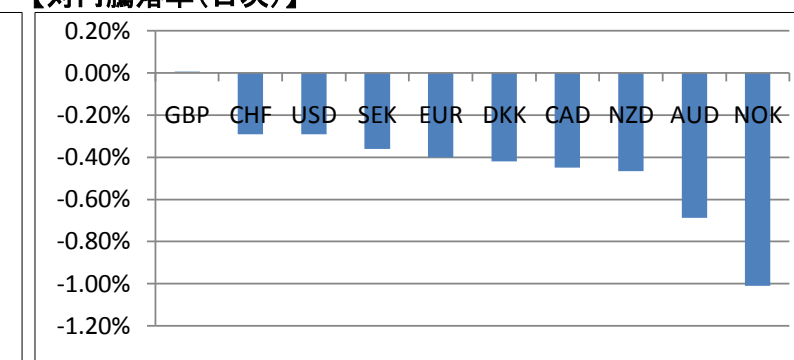
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月22日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	1月	-
	16:40	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	12月	0.13
1月23日	00:00	米 中古住宅販売件数	12月	5.43m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 2020年のベトナム

1月ベトナム中部の第3の都市ダナンを訪れた。ホテルの建設ラッシュが続いており、ベトナム経済の活性化を感じたが、街中の看板は見たことのある日系企業の広告がとて多く、日系企業のベトナム進出意欲を感じることもできた。実際、年初にNNAが発表している、駐在員820人に聞いた「2020年のアジアで最も有望な投資先」という調査では、ベトナムが一位で回答全体の40%を越えて、2位のインドの12%を大きく引き離す結果となっている。2017年以降、ベトナムドン相場の動きは、管理変動相場制を採用していることもあるが、貿易黒字を維持していることから他の新興国通貨と比べても安定的な推移となっている。2019年は米中貿易摩擦問題等世界経済の不透明感にも関わらず安定的な推移で、変動幅は約0.3%と狭い範囲内に収まった。GDPは2019年7-9月期は2期連続の減速から脱し、プラス7.3%と上昇し、景気の底堅さを見せている。GDPのうち全体の7割を占めるといわれている民間消費が堅調で、観光業の好調もそれを後押ししている。また、2019年は米中貿易摩擦による生産拠点の移管も一部見られ、製造業の成長率は通信機器や電子部品を中心として回復した。こうした経済の堅調さや近年の経常黒字とともに外貨準備も増加しており、これを背景としてベトナムの信用格付も改善傾向にある。ただし、現在はまだ投資適格水準ではなく、今後長期的に経済成長に伴い信用格付も更に改善されることでドン高方向に向かっていくことが想定される。足元では世界的な低金利環境の中、高い経済成長率が見込まれるベトナムへの資金流入も進みドン高方向への推移となっている。ベトナム中銀はこれまで輸出企業保護のためドン高を抑制してきたが、米国の為替操作国監視リストにベトナムが入っていることもあり、一方的なドン安進行は難しいだろう。(高根)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル

ブル	ベア
14	6